



日本のがん罹患数・率の最新全国推計値公表

2013 年がん罹患数 86.2 万人

全都道府県のデータが県間比較可能な精度に到達

2017 年 9 月 20 日

国立研究開発法人国立がん研究センター

国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター(センター長:若尾文彦)を中心とする厚生労働科学研究費補助金「全国がん登録、院内がん登録および既存がん統計情報の活用によるがん及びがん診療動向把握に関する包括的研究」研究班(研究代表者:松田智大)は、「地域がん登録」データを活用し 2013 年に新たにかんと診断された罹患数・率として算出した全国推計値を、冊子に編集・公表しました。

集計の結果、2013 年の 1 年間にがんと診断された症例の全国推計値は、男 498,720 女 363,732 男女計 862,452 でした。また、人口 10 万対の年齢調整罹患率は、男 436.1 女 307.8 男女計 361.9 (前年比-3.7)となりました。

「地域がん登録」は、都道府県のがん対策を目的に 1950 年代より一部の県で開始され、研究班が各地域がん登録からデータを収集する活動を開始して以降、年々参加都道府県が増加し、2012 年に引き続いて 47 全ての都道府県のデータが揃いました。全国推計値は、国際精度基準を達成した都道府県のデータを用い、人口ベースで日本全体のがん罹患推計を算出したもので、2003 年より集計を開始し、今回で 11 回目となりました。前回に引き続き、全都道府県の実測値が揃ったことから、これまで通りの全国推計値を算出するとともに、47 都道府県を合計した実測値も算出しました。

研究班では、今回、全都道府県が国内精度基準を満たしたことから、全県のデータが高精度で活用できること、また高精度地域の罹患数を死亡統計によって補正した推計値ではなく、本来あるべき実測値が採用可能であることも確認できました。今回の推計・集計値は、「全国がん登録方式」でのデータ処理方法に移行したことで、より真の罹患数に近いと想定され、今後国際比較が可能となることも分かりました。

2013 年集計結果のポイント

- 2013 年の 1 年間のがんと診断された症例の推計数は、男 498,720 女 363,732 男女計 862,452 と、2012 年の男女計 865,238 よりやや減少しました。(2013 年推計値:報告書 62 ページ 表 29)
- 人口 10 万対の年齢調整罹患率は男 436.1 女 307.8 男女計 361.9 と、2012 年の男女計 365.6 より減少しました。(2013 年推計値:報告書 62 ページ 表 29)
- 部位別に罹患数を見ると、男性は胃、肺、大腸、前立腺、肝の順で多く、女性は乳房、大腸、胃、肺、子宮の順でした。(報告書 62 ページ 表 29)
- 全都道府県が国内精度基準を満たし、データ全てが県間比較可能なものとなりました(宮城県は 2011 年)。このうち、34 県が国際精度基準を満たしました(総人口の 57.6%に相当)。推計参加登録の精度指標は、年々着実に向上し、推計利用地域の平均 DCO%(病院からの届出がなく死亡診断書のみで把握されている症例の割合)は 5.0、実測値は推計値とも大きな差がありません。(報告書 61 ページ 表 28)
- 今回の集計値算出には、全国がん登録のデータ処理方法を一部の都道府県で採用しました。このことによって、一部の県では 2012 年のデータに比較して罹患数が増加し、一部の県では減少しています。
- 都道府県別に見た、がん罹患の傾向と、がん死亡の傾向は、必ずしも一致せず、こうした現状を分析し、地域に必要な計画を立案することが、効果的ながん対策を進める鍵となります。

<解説>

① がん登録に基づく統計について

がん登録に基づく統計は、がん対策の基礎となるものですが、全国値や実測値がなかったことが大きな課題でした。「地域がん登録」では、自県施設の自県住民のデータのみを収集しているため他県受診の場合の把握はできませんが、日本のがんの実態把握につながるものです。2018 年に予定されている「全国がん登録」の罹患数公表に先駆けて、移行期にふさわしい、国の特性や地域差を観察できる、信頼性の高い統計値を算出することができました。

② 地域がん登録について

「地域がん登録」は、都道府県のがん対策を目的に 1950 年代より一部の県で開始されました。研究班が各地域がん登録からデータを収集する活動を開始して以降、年々参加都道府県が増加し、2010 年は 30 県、2011 年は 40 県、2012 年には初めて 47 都道府県の登録データが揃いました。

③ 集計方法について

2015 年度から、全国がん登録データと連携した都道府県がんデータベースシステムが運用され、死亡票の取り扱いや遡り調査の実施方法、罹患日の定義、全国照合の実施など、全国がん登録での集計方式を踏まえて標準化が進められています。本集計では、引き続き旧データベースシステムからデータ提出をした県と、この都道府県がんデータベースシステムからの提出県が混在し、2012 年集計と性質の異なる数値となっています。ただし、届出の増加も

踏まえ、MCIJ2013 は 2013 年の真の罹患数に近いと想定され、2016 年罹患症例以降の全国がん登録と、旧来の地域がん登録とをつなぐ架け橋となる統計値であると言えます。

公開ウェブサイト

がん情報サービス URL : <http://ganjoho.jp>

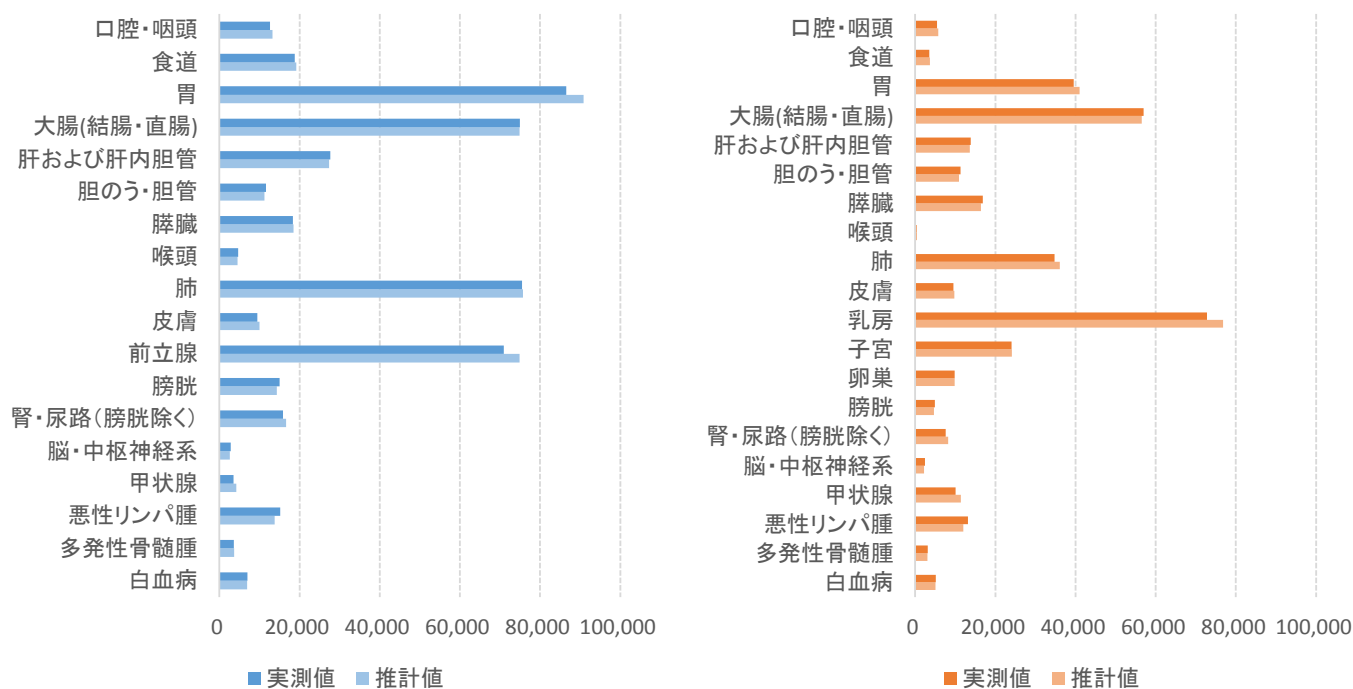
- 医療関係者向け 報告書
「全国がん罹患モニタリング集計 2013 年罹患数・率報告」
http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/brochure/monitoring.html
- 医療関係者向け 元データを Excel にてダウンロードできます。
「集計表のダウンロード」
http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/dl/index.html
- 一般向け
「最新がん統計」 罹患数の順位などポイントをご紹介します。
http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/summary.html

推計値と実測値(47 都道府県単純合計値)の比較

推測値(全部位) 男 498,720 女 363,732 男女計 862,452

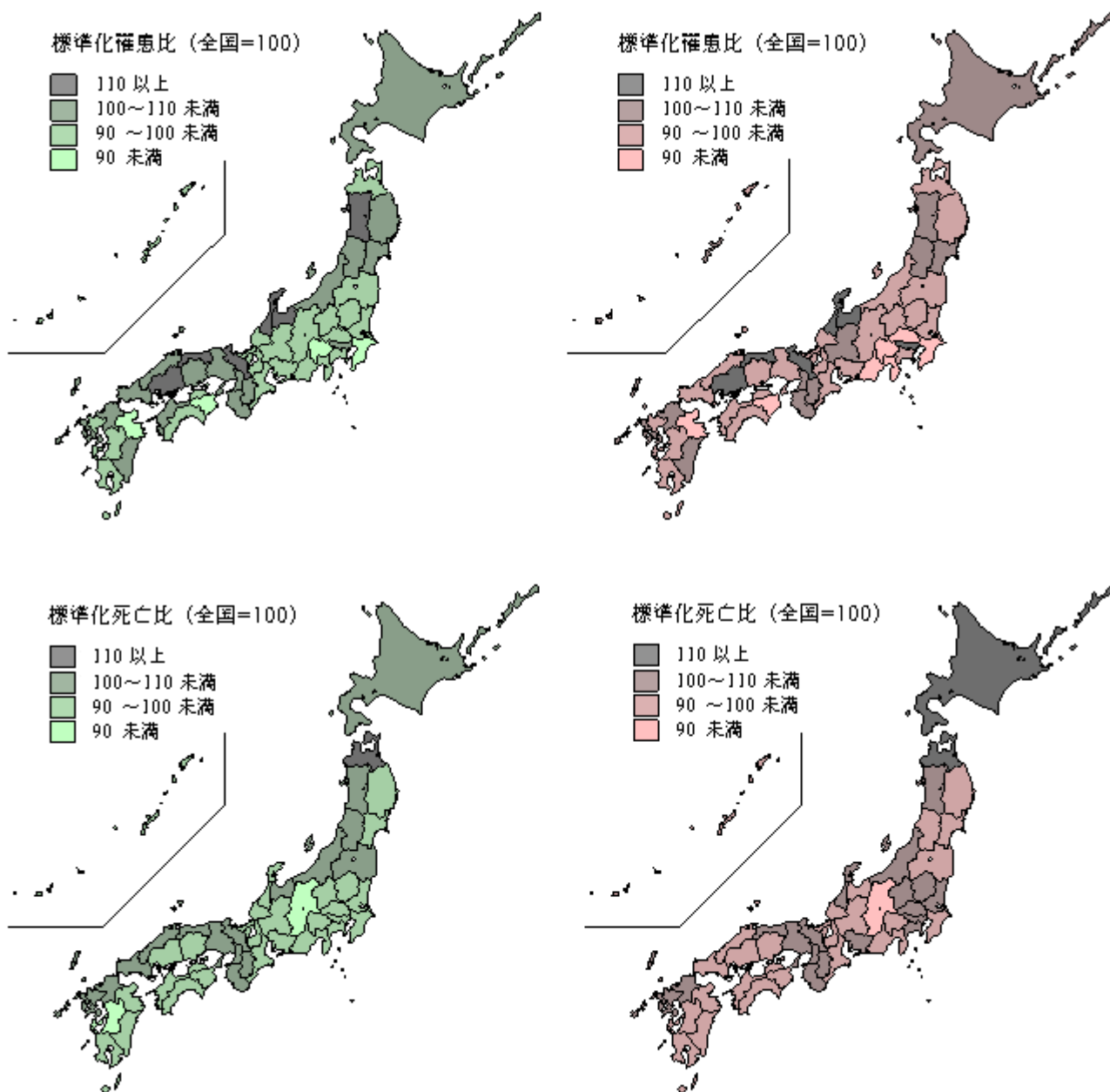
実測値(全部位) 男 490,916 女 357,914 男女計 848,830

2013 年、左:男性、右:女性



標準化罹患比及び死亡比

全部位(上皮内がんを除く) 2013年、左:男性、右:女性 ※罹患:宮城県 2011年



* 標準化罹患比、標準化死亡比とは・・・

年齢構成の異なる集団間の罹患数・死亡数の比較に用いられる方法で、標準とする人口集団と同じがん罹患率であるとしたら、その集団で何人のがん患者が発生するかを予測し(期待値)、実際の罹患数(死亡数)をその期待値で割ったものが、標準化罹患(死亡)比です。

がん罹患・死亡データの更新に関連する追加集計

■ 生涯累積罹患リスク

生涯累積罹患リスクとは…一生のうちにある病気に罹患する(その病気と診断される)およびその確率

最新の 2013 年がん罹患データに基づいて生涯累積罹患リスクを算出すると、生涯でがん罹患する確率は、男性 62%(2 人に 1 人)、女性 46%(2 人に 1 人)。2012 年がん罹患データとほぼ同じ(男性 63%、女性 47%)。

■ 生涯累積死亡リスク

生涯累積死亡リスクとは…一生のうちにある病気で死亡するおよびその確率

最新の 2015 年がん死亡データに基づいて生涯累積死亡リスクを算出すると、生涯でがんにより死亡する確率は、男性 25%(4 人に 1 人)、女性 16%(6 人に 1 人)。2014 年がん死亡データと比較して変化なし(男性 25%、女性 16%)。(死亡データは昨年 12 月に 2014 年から 2015 年に更新されました)

がん種ごとのデータは以下のページに掲載されております。

最新がん統計

http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/summary.html

■ 2017 年のがん統計予測

日本のがん統計は、罹患データは 4~5 年、死亡データは 1~2 年遅れて公表されています。諸外国では、これらの遅れを数学的な手法で補正して、現時点でのがん統計を予測する試み(短期予測)が実施されています。この短期予測を最新の 2013 年がん罹患データ、および 2015 年がん死亡データに基づいて実施すると、以下の通りになります。

がん罹患数予測(2017 年)

男女計 1,014,000 例 (男性 575,900 例、女性 438,100 例)

2016 年の予測値とほぼ同じ(男女計 1,010,200 例、男性 576,100 例、女性 434,100 例)

がん死亡数予測(2017 年)

男女計 378,000 人 (男性 222,000 人、女性 156,000 人)

2016 年の予測値とほぼ同じ(男女計 374,000 例、男性 220,300 例、女性 153,700 例)

がん種ごとの予測結果は以下のページに掲載されております。

2017 年のがん統計予測 http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/short_pred.html

<報道関係からのお問い合わせ先>

国立研究開発法人 国立がん研究センター

企画戦略局 広報企画室

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL:03-3542-2511(代表) FAX:03-3542-2545

E-mail:ncc-admin@ncc.go.jp